

編集 後記

早いもので、2010年の最後の第12号をお届けすることになりました。今回は、原著3編、公衆衛生活動報告1編、研究ノート1編、また、連載も3編あり充実した内容となっております。その中で、2008年4月より始まった特定健康審査に関連する論文が2編掲載されております。最初の原著では、現時点においても、国際的に見てメタボリック・シンドロームの診断基準が統一されていると言えない状況があるなかで、シミュレーターによる各診断基準の有病率の比較がなされており、さらに、研究ノートでは基本健康審査からの長期間のデータ収集により、特定健診の受診率が低くなる問題について述べられております。特定健康審査・特定保健指導は公衆衛生学会が大きく関わる分野ですので、今後もこのようなメタボリック・シンドロームの診断基準の問題や、特定健診の受診率の確保、さらに効果的な保健指導などについて、本雑誌に多くの投稿がなされて、公衆衛生の実践へのエビデンスが多くであることを期待しております。
(西條 泰明)

次号予告 (第58巻・第1号)

原著

1年間の要介護認定発生に対する基本チェックリストの予測妥当性の検証大崎コホート2006研究
.....遠又靖丈, 他

公衆衛生活動報告

2009年新型インフルエンザ(A/H1N1)集団発生事例に対する入院措置兵庫県の初期対応
.....足立ちあき, 他
スクエアステップを取り入れた運動教室に参加した高齢者がその後も自主的に運動を継続している理由
.....重松良祐, 他

研究ノート

乳児から小学生の子どもをもつ母親の虐待認識についての検討
.....横山美江, 他
精神病床長期在院患者の転院・死亡を考慮した退院状況の指標の検討
.....小山明日香, 他

連載

健康の社会的決定要因(9)
.....大西丈二
ヘルスサービスリサーチ(6)
.....柏木聖代
社会と健康を科学するパブリックヘルス(2)
.....木原雅子, 他